

技能審査の成果の単位認定に関する規程

第1条 知識及び技能に関する審査で県教育委員会が定めるものに合格した場合、当該審査の内容に対応する科目(以下「対応する科目」という)の増加単位数として加えることができる。ただし、同種技能審査に関する増加単位数は、上位級のものをこれにあてる。

第2条 増加単位数の認定は生徒本人および保護者の申請によるものとし、別に定める申請用紙および技能審査の成果が確認できる書類(合格証書の写しなど)の提出を受け、単位認定会議で行い、卒業認定に必要な単位数を含むものとする。

第3条 指導要録には、次のように記入する。

- (1) 対応する科目の単位を修得認定する前に合格した場合は、対応する教科・科目の修得単位数の欄に加えた単位数を含めて記入すること。
- (2) 対応する科目の単位を修得認定した後に合格した場合は、合格した学年の対応する教科・科目の修得単位数の欄に加えた単位数を記入すること。
- (3) 備考の欄に技能審査などその旨を記入し、加えた単位数を記入すること。

第4条 増加単位数は次の表のとおりとし、以下の条件を満たしていること。

- (1) 生徒が高等学校在学中に知識及び技能に関する審査を受験し、合格すること。
- (2) 同種の審査を2種目以上合格しても1種目のみを認定する。
- (3) 増加単位数は対応する科目の修得単位数を超えないこと。

兵庫県教育課程編成のガイドラインの別表1に定める科目については、増加単位数は対応する科目の限度単位数を超えないものとし、かつ、修得単位数と増加単位数の合計が標準単位数を超えないこと。

- (4) 学校間連携・専修学校における学習成果および技能審査の成果については、増加単位数の合計が20単位を超えないこと。

第5条 付則

- (1) この規程は、平成25年8月29日改正
- (2) この規程は、平成25年4月1日に遡って適用する。
- (3) この規程は、平成27年4月1日改正
- (4) この規程は、令和4年4月1日改正(別表)

教科 国語

技能審査の種類	実施団体	級・種別	対応する科目	増加単位数
日本漢字能力検定	(公財)日本漢字能力検定協会	2級	国語総合、国語表現 現代の国語、言語文化	2

教科 芸術

技能審査の種類	実施団体	級・種別	対応する科目	増加単位数
硬筆書写技能検定	(一財)日本書写技能検定協会	2級	書道Ⅰ	1
毛筆書写技能検定	(一財)日本書写技能検定協会	2級	書道Ⅰ、書道Ⅱ 書道Ⅲ	2

教科 外国語

技能審査の種類	実施団体	級・種別	対応する科目	増加単位数
実用英語技能検定	(公財)日本英語検定協会	2級	コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	3

教科 商業

注) 商業に関しては、増加単位数は次の式によるものとする。

増加単位数 ≤ 限度単位数 - 対応する科目の修得単位数

技能審査の種類	実施団体	級・種別	対応する科目	増加単位数
商業経済検定	(公財)全国商業高等学校協会	1級	マーケティング 商品開発 広告と販売促進 ビジネス経済 ビジネス経済応用 経済活動と法 商品開発と流通 ビジネス・マネジメント ビジネス法規	2
販売士検定	日本商工会議所	2級	マーケティング 商品開発 広告と販売促進 ビジネス経済 ビジネス経済応用 商品開発と流通 ビジネス・マネジメント ビジネス法規	2

簿記実務検定	(公財)全国商業高等学校協会	1 級	簿記 財務会計Ⅰ 財務会計Ⅱ 原価計算 管理会計	2
会計実務検定	(公財)全国商業高等学校協会	—		
財務諸表分析検定	(公財)全国商業高等学校協会	1 級		
財務会計検定	(公財)全国商業高等学校協会	1 級		
管理会計検定	(公財)全国商業高等学校協会	1 級		
簿記検定	日本商工会議所	2 級		
簿記能力検定	(公社)全国経理教育協会	1 級		
情報処理検定	(公財)全国商業高等学校協会	1 級	情報処理 ビジネス情報 電子商取引 プログラミング ビジネス情報管理 ソフトウェア活用 ネットワーク活用 ネットワーク管理	2
珠算・電卓実務検定	(公財)全国商業高等学校協会	1 級	ビジネス実務 ビジネス・コミュニケーション	2
ビジネス計算実務 検定	(公財)全国商業高等学校協会	1 級		
電卓計算能力検定	(公社)全国経理教育協会	1 級		
ビジネス文書実務 検定	(公財)全国商業高等学校協会	1 級	ビジネス実務 情報処理 電子商取引	2
英語検定	(公財)全国商業高等学校協会	1 級	ビジネス実務 ビジネス・コミュニケーション 英語に関する各科目	2
秘書検定	(公財)実務技能検定協会	3 級	マーケティング 商品開発 広告と販売促進 商品開発と流通 ビジネス・コミュニケーション	2

教科 家庭

技能審査の種類	実施団体	級・種別	対応する科目	増加単位数
全国高校家庭科食物調理技術検定	(公財)全国高等学校家庭科教育振興会	1級	フードデザイン、調理食文化	2
		2級		1
全国高校家庭科被服製作技術検定	(公財)全国高等学校家庭科教育振興会	洋服2級	服飾文化 ファッション造形 ファッション造形基礎 ファッションデザイン	1
		和服2級		1